# 事業完了報告書 (実行団体)

事業名:バスケを通じた子どもの居場所創出事業資金分配団体名:一般社団法人RCF実行団体名:株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース実施時期:2021年7月~2022年2月事業対象地域:神奈川県

I. 事業概要

事業対象者:

経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供が孤立を感じず、安心・安全な場づくりとしての以下2事業を実施

①バスケットボールスクール生のスカラシップ事業

コロナ禍により、居場所が十分に確保できない(共働きであるが学童に入れていない等)、また、経済的な理由等でバスケットボールのスクールに通うことが困難な小 中学生を対象

Version 3.2

2022年3月14日

<u>日付:</u>

中学生を対象。

川崎ブレイブサンダースの運営するバスケットボールスクールに1年間無償で受け入れる。

スクールメイトとの週次での練習での交流に加え、地域のミニバスケットボール所属の仲間、更には、ブレイブサンダースの試合などでの手伝いなどで同年代だけで

なく、大人や地域の人々との交流する接点をつくる。

多様な人間やコミュニティと接することで、自身の考え方や可能性の幅、視野を広げられることを図る。

事業実施概要 ②安心して滞在出来る拠点づくり

川崎市内の武蔵小杉駅近くに、6坪屋内+25坪屋外で、バスケゴールや室内で本/漫画の閲覧などが出来る拠点を新設

ブレイブサンダース側で2~3名を見守り役として配備。

コロナ禍で居場所を求めている子どもを優先利用。入退室は氏名等を記載して管理し、

まずは、子ども達にとって、いつでも来られる場(=学校や家庭以外で、何かあった時来れる駆け込み寺として)を無償で用意。

また、バスケットボールの試合の就労体験受け入れなどで関わりのある企業やスポンサーを通じて、イベント(課外授業のような位置づけ)の実施。

行政や地域と連携して、子ども達の様子を注視。

#### Ⅱ.課題・事業設計の振返り

スカラシップについては、市とも連携して対象となる過程にメールなどでアプローチを行ったが、結果十分な母数にアクセス出来ず。50人程度を見込んでいた見立

てに対し、20名程度で着地。 実施者の満足度高く、内容としてよかっただけに、もう少し多くの方にアプローチ出来るやり方の構築は必要。

課題設定、事業設計に関する振り返り

居場所事業に関しては、平日で20~30人、土日祝日だと100名近くの利用者で、定着する子どもも多く、居場所として機能していると言える。

また、大きなトラブルなどもなく安定的に運営出来ており問題ない状態。

課題としては、今後運営稼働費を賄える収益性の向上。また、真に困窮している子ども、家庭の拾い上げ~行政連携の部分は、現状ないので、今後よりすくいあげて

いるいけるような仕掛けは充実させていく。

## Ⅲ. 今回の事業実施で達成される状態(アウトプット)※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態 (アウトプット)	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
生活困窮者	学習機会の	バスケットボールスクールを通して子どもの	バスケットボールス	バスケットボールを通	21名の参加	とも連携して対象となる過程にメールなどで
	不足/格差	生きる支え、楽しみを創出。事業継続の道筋	クールを無償提供し、	して、子どもが元気に	参加した子の満足度高	アプローチを行ったが、結果十分な母数にア
		を立てる。	継続する仕組みを作れ	なること。そして、危	く、これをキッカケに	クセス出来ず。50人程度を見込んでいた見立
			ているか。	なそうな家庭の子ども	バスケを続けたいとい	てに対し、20名程度で着地。
				を見つけ出し、行政に	う子も多い	実施者の満足度高く、内容としてよかっただ
				連携、スポンサーなど	ポジティブな気づきを	けに、もう少し多くの方にアプローチ出来る
				により、事業を継続し	与えられた点は良好	やり方の構築は必要。
				ていける状態。		
子ども・学	居場所の不	居場所を提供し、児童家庭課との連携も強化	行政に連携している子	問題を抱えていそうな	平日で10-20人	利用者、滞在者は十分な結果を得られた
生	足	し、官民一体で子ども達を救う仕組みを確	どもの居場所としての	子どもを一人でも多く	土日は100人近く利用	大きな課題を抱えた子どもはまだ見受けられ
		立、継続。	地位を確立している	見つけ出し、行政に連	危なそうな子の行政連	ないが、機動的に行政や関係先に繋げられる
			か。	携。物販売上等による	携まだ至るケースは0	ように引き続き目配りしていきたい。
				維持費を作り出し、継	件	
				続している状態	事業継続は一定目処は	
					付いたので事業は引き	
					続き継続するが、引き	
					続き収益性の伸長は事	
					業課題	

#### Ⅳ. アウトカム(事業実施以降に目標とする状況)\*

	IV. アプトガム (事業美施以降に目標とする状況) **				
川崎ブレイブサンダース単体の事業ではなく、					
		川崎地場のスポンサー企業や行政と連携して、より活動の場を広げていく。			
		①コロナ禍だけでなく経済的な理由や家庭環境の問題で、十分な居場所/学びの機会の得られていない子どもを応援する基金(スポンサーシップ)を設立し、バスケッ			
  事業実施以降に目標とする状況		トボールスクール以外にも挑戦する機会を創出。			
		②複数拠点に展開し、中のコンテンツや児童家庭課との連携も強化し、居場所=>子ども達が置いていかれない為の防波堤(=課題のある子ども達を見つけ、対応す			
		る場所)としての位置づけにまで昇華。			
		官民一体で子ども達を救う仕組みを確立。			
		中長期的な観点での当初の実施以降の目標値からするとまだまだ途上。まずは、居場所事業においては、引き続き利用者を増やしていくと共に、事業維持可能は収益			
		性の確保を併存出来るように進める。			
	考察等	スカラシップについては、今回のスカラシップをキッカケにバスケを志すことになった子どもたちのフォロー、また同様なスカラシップなど子どもたちにバスケなど			
		を学び、体験させることが出来る場の提供を模索する。			

#### V. 活動

活動	進捗	概要
スカラシップ - 対象者のフォロー、	計画通り	非常に高い満足度で、他の子どのとの調和も含め問題なく、大きなトラブルもなかった。
スカラシップ - 追加募集	遅延あり	追加で募集施策を進めたが、想定の50人までは至らず
居場所 - 周辺への認知、利用者数の	計画通り	初速から非常に多くの利用者数、またメディアにも定期的に取り上げられることで周辺学区への認知向上
居場所 - 近隣との連携	ほぼ計画通り	市や他団体との連携はズムーズに構築され、問題ない連携体制、近隣からのクレームが1件あったが穏便に対応中
居場所 - 収益性の確立	遅延あり	子ども、大人向けのクリニックや子ども食堂弁当の配布(今後の協賛アクティベーションや単独マネタイズ手法として)パターンを検証し、一定の収益性は担保できているが、単体で事業存続出来るレベルにはまだまだ途上

#### VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

ニュースメディアだけでなく、キー局のバラエティなど複数のメディアへ取り上げられたことにより、想定以上の層へアプローチ出来た本件の一定の成功モデルが出来たことで、社内外での同様の取り組みに対しての姿勢や意欲が増し、今後本件のような事業推進に後押し効果があった**想定外のアウトカム、活動、波及効果など** 

## VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

コロナ禍は以前と続いており、以前潜在的に課題はあると思われる。
本居場所やスカラシップを通じて、まだまだアプローチ出来る方は限られるが、満足度高く何かのキッカケづくりにはなった意味で少しは改善出来たと思われる。

課題を取り巻く変化

## Ⅷ. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
川崎市	スカラシップ生の募集。子ども居場所方針相談。子ども支援課等関係各所との連携。近隣機関紹介。
NPO法人カタリバ	子ども居場所運営に伴うユースワーカー研修の実施、スタッフ育成
新丸子こども文化センター	子ども居場所運営に伴うノウハウや緊急時対応等ガイドライン参照

#### IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	12,600,000	9,752,965	77.4%
尹未貝	管理的経費			#DIV/0!
合計		12,600,000	9,752,965	77.4%
補足説明		残額2,847,035円については、3月中に支出予定		

#### X. 広報実績

	広報内容	内容
1.メテ	ディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	・2021/11/5 PRTIMES 子どもたちが安心して過ごせる居場所として『THE LIGHT HOUSE KAWASAKI BRAVE THUNDERS』を東急武蔵小杉駅高架下にオープン https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000060239.html ・2021/11/6 月バス.com 川崎ブレイブサンダース、子どもたちが安心して過ごせる居場所『THE LIGHT HOUSE KAWASAKI BRAVE THUNDERS』をオープン https://www.basketball-zine.com/kawasaki_the-light-house ・2021/11/10 Sportsnavi 子どもたちが安心して過ごせるバスケットボールステーション『THE LIGHT HOUSE KAWASAKI BRAVE THUNDERS』設立のお知らせhttps://sports.yahoo.co.jp/official/detail/202111100026-spnaviow ・2021/11/10 BASKETBALLKING 川崎ブレイブサンダースが新たな試みの施設をオープン・・・子どもたちが気軽にバスケを https://basketballking.jp/news/japan/b1/20211110/345198.html?cx_news=page5 ・2021/11/11 武蔵小杉ライフ 川崎ブレイブサンダースがバスケットボールステーション「ザ・ライトハウス」を武蔵小杉高架下に開設、子どもたちが安心して過ごせる場にhttps://musashikosugi.blog.shinobi.jp/Entry/5532/ ・2021/11/12 4years. 川崎ブレイブサンダース、武蔵小杉駅高架下にバスケステーション「ザ・ライトハウス」 https://4years.asahi.com/withbasketball/topics/14480178
2.広報	and the state of t	OPEN前に近隣小学生向けのチラシ作成: 950部 開業以降の紹介チラシ: 5,000部

	上記チラシの作成 店舗入り口A型看板への掲出
4.報告書等	特になし

# XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類:定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	引き続き対応中
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況 がどのように改善されたかを記載してください。	特段Updateなし	
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	企業方針により未公開
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	取締役会、株主総会を開催
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	E-Learningにて定期的に研修を実施。発生時の速やかな申告フローを確立している。
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	いいえ	企業方針により非公開
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置してい ましたか。	はい	コンプライアンス担当を設置
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	通常事業の中で実施
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。	☑ 外部監査	
(実施予定の場合含む)(複数選択可)	図内部監査口実施予定はない	通常事業の中で実施
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、 または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	